

ますます寒さが身にしみる季節になりました。小野小ではインフルエンザにかかる人がふえ、1月23～25日には1年生が学年閉鎖になりました。3学期のはじめから1月末まででインフルエンザにかかった人は21人で、これからも感染が広がらないか心配です。

お子さんがインフルエンザと診断されたら

インフルエンザによる出席停止の期間は、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」です。毎日市へ感染症の人数報告をしていますので、診断された場合は、まず電話等で早めに学校へ連絡してください。その際、インフルエンザの型についてもお知らせください。治って登校する際は、「治療証明書」を医師に記入していただき、学校への提出が必要です。学校に兄妹がいる場合は、兄妹に「治療証明書」を渡します。いない場合は、保護者の方に学校まで取りにきていただくか、学校ホームページ (<http://ono-es.nc.tomioka.ed.jp/>) の「保健室から」よりダウンロードしていただくことになります。ご協力よろしくお願いいたします。

★今年、小野小でインフルエンザにかかった人に多くみられる症状は、「せき」「頭がいたい」です。

★37℃台でもインフルエンザと診断されているケースが多くあります。体調不良時はおうちで様子をみず、早めにお医者さんへ行きましょう。

★予防接種をしても、かかってしまうことがあります。その場合、症状が軽めなためインフルエンザと気づきにくいようです。

インフルエンザにはA型とB型があります。小野小ではA型が出ています。

さらに、A型には2種類あり、市内ではA型に2回かかった人もいます。同じ人が何度もかかることがあるので、うがい・手あらいで予防しましょう！

手洗いをマスターしよう



① 手をぬらして、せっけんをつけます。



② 手のひらを合わせて、よくこすります。



③ 手のこうを洗います。



④ 指先を洗います。



⑤ 指の間を洗います。



⑥ 親指を洗います。



⑦ 手首を洗います。



⑧ しっかりとすすぎます。

洗い終わったら、清潔なハンカチやタオルでふきましょう。

インフルエンザだけじゃない… 花粉症もはじまります！

この時期、花粉症とインフルエンザ、
かぜとのちがいを見きわめることが
とても重要です。



花粉症とかぜの違い

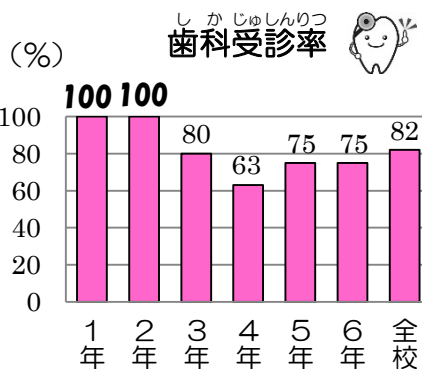
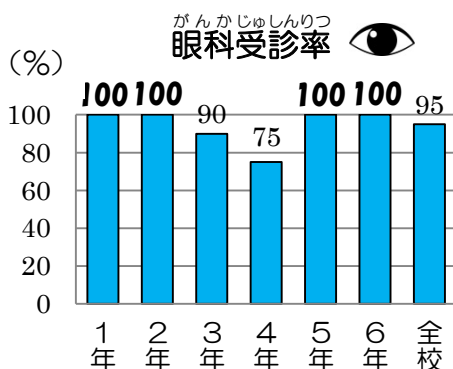
花粉症	症状	かぜ
透明でさらさらしたような鼻水。鼻づまりがひどくなる。	鼻	水のような鼻水から、黄色っぽく粘り気のある鼻水に変わる。鼻づまりを起こすこともあるが、数日間で治る。
1日に何回も出て、何日も続く。	くしゃみ	出ることもあるが、数日間で治る。
かゆくなる。	目	特になし。
かゆくなることがある（主に顔）。	皮膚	特になし。
微熱（いつもより少し高い熱）が出ることがある。	熱	高い熱が出ることがある。
出る場合もあるが、そんなに多くはない。	せき	多くの場合、出る。
痛みが出ることもあるが、ひどくはない。かゆくなることがある。	のど	多くの場合、痛くなる。



治療は済みましたか？

平成30年度 定期健康診断 受診率（1/31現在）

あたら けくねん
新しい学年になる
前に治そう！



☆治療報告書は、早めに
担任に提出して下さい。

＜歯科受診についてお願い＞

歯科受診率は、現在全校で82%です。8人がまだ歯の治療を終えていません。
小学生は、子どもの歯から大人の歯にはえかわる大切な時期です。健康な歯がないと、食事や会話、すてきな笑顔ができなくなってしまいます。これからの人生をともに歩む大切な歯がつくられる時なので、悪化する前に必ず受診をお願い致します。

